

別添4. レファレンスアプローチと部門別アプローチの比較とエネルギー収支

ここでは、UNFCCC インベントリ報告ガイドライン (FCCC/SBSTA/2006/9) のパラ 31 に則り、レファレンスアプローチと部門別アプローチの比較を行う。

4.1. 燃料消費量の差異について

燃料消費量の差異の変動幅は、-0.95%~1.39%となっている。諸外国のインベントリデータと比較すると相対的に低い値といえる。

石炭系燃料（固体燃料）の差異の2008年度の値（5.94%）は飛び抜けて大きな値となっているが、これは製造業の輸入一般炭（\$130）消費在庫が大きく積み増されたためである。

表 A 4-1 燃料消費量の比較

[10 ¹⁸ J]	1990	1991	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
レファレンスアプローチ												
石油系燃料	9,689	9,796	10,191	9,503	9,200	9,211	9,167	8,926	8,913	8,294	8,313	7,559
石炭系燃料	3,270	3,356	3,603	4,175	4,267	4,409	4,534	4,967	4,736	4,796	5,010	4,895
天然ガス系燃料	2,097	2,248	2,534	3,130	3,126	3,215	3,365	3,354	3,388	3,746	4,082	4,013
その他の燃料	NA											
合計	15,056	15,400	16,328	16,809	16,593	16,835	17,066	17,246	17,037	16,835	17,405	16,468
部門別アプローチ												
石油系燃料	9,550	9,599	10,051	9,450	9,133	9,275	9,094	8,934	8,903	8,390	8,402	7,721
石炭系燃料	3,354	3,332	3,635	4,118	4,220	4,484	4,605	4,721	4,808	4,787	4,955	4,621
天然ガス系燃料	2,106	2,257	2,548	3,136	3,137	3,238	3,371	3,371	3,368	3,756	4,106	4,021
その他の燃料	NE											
合計	15,010	15,189	16,234	16,705	16,489	16,997	17,070	17,026	17,079	16,933	17,462	16,363
差異 (%)												
石油系燃料	1.46%	2.05%	1.39%	0.56%	0.74%	-0.69%	0.80%	-0.10%	0.10%	-1.15%	-1.05%	-2.10%
石炭系燃料	-2.50%	0.73%	-0.88%	1.39%	1.10%	-1.65%	-1.54%	5.20%	-1.51%	0.19%	1.11%	5.94%
天然ガス系燃料	-0.44%	-0.43%	-0.55%	-0.20%	-0.32%	-0.72%	-0.19%	-0.50%	0.62%	-0.28%	-0.57%	-0.18%
その他の燃料	NA											
合計	0.31%	1.39%	0.58%	0.62%	0.63%	-0.95%	-0.02%	1.29%	-0.25%	-0.58%	-0.33%	0.64%

4.2. CO₂ 排出量の差異について

CO₂ 排出量の差異の変動幅は、-1.92%~0.79%となっている。2009年提出インベントリより、エネルギーとして利用された廃棄物及びエネルギー回収を伴う廃棄物焼却からのCO₂排出量を、1996年改訂IPCCガイドライン及びGPG(2000)に従い、従来の廃棄物の焼却(カテゴリー6.C.)ではなく、燃料の燃焼(カテゴリー1.A.)にて計上している。そのため、部門別アプローチの排出量及びレファレンスアプローチと部門別アプローチの差異が、従来のインベントリから変更となっている。

石炭系燃料（固体燃料）の差異の2008年度の値（5.29%）は、飛び抜けて大きな値となっているが、これは燃料消費量と同様に製造業の輸入一般炭（\$130）消費在庫が大きく積み増されたためである。

表 A 4-2 CO₂ 排出量の比較

[百万t CO ₂]	1990	1991	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
レファレンスアプローチ												
石油系燃料	659.1	666.5	692.4	647.0	626.3	626.7	623.9	607.8	606.4	564.0	566.0	514.9
石炭系燃料	294.6	301.9	324.2	377.6	385.5	399.0	410.3	450.0	428.7	434.2	453.7	442.8
天然ガス系燃料	103.7	111.2	125.3	154.8	154.6	159.0	166.4	165.8	167.6	185.2	201.9	198.5
その他の燃料	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
合計	1,057	1,079	1,142	1,179	1,166	1,185	1,201	1,224	1,203	1,183	1,222	1,156
セクトラルアプローチ												
石油系燃料	646.2	649.1	677.3	635.1	613.1	622.9	611.4	600.4	597.8	562.0	563.7	518.1
石炭系燃料	308.6	305.8	331.7	376.5	384.9	409.6	419.7	431.1	437.9	436.7	451.5	420.5
天然ガス系燃料	104.3	111.8	126.2	155.3	155.3	160.4	167.0	166.9	166.8	186.4	203.3	199.5
その他の燃料	9.1	9.4	10.5	13.1	14.2	15.0	15.8	15.6	15.1	14.2	14.4	13.8
合計	1,068	1,076	1,146	1,180	1,167	1,208	1,214	1,214	1,218	1,199	1,233	1,152
差異 (%)												
石油系燃料	1.99%	2.68%	2.23%	1.87%	2.17%	0.62%	2.05%	1.22%	1.43%	0.34%	0.42%	-0.62%
石炭系燃料	-4.54%	-1.28%	-2.26%	0.29%	0.17%	-2.60%	-2.24%	4.38%	-2.11%	-0.57%	0.49%	5.29%
天然ガス系燃料	-0.57%	-0.57%	-0.71%	-0.32%	-0.45%	-0.88%	-0.40%	-0.65%	0.45%	-0.61%	-0.69%	-0.52%
その他の燃料	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
合計	-1.01%	0.32%	-0.33%	-0.06%	-0.08%	-1.92%	-1.10%	0.79%	-1.24%	-1.32%	-0.91%	0.36%

4.3. 燃料消費量の差異及び CO₂ 排出量の差異の比較

燃料消費量の差異と CO₂ 排出量の差異は概ね同じ傾向を示している。

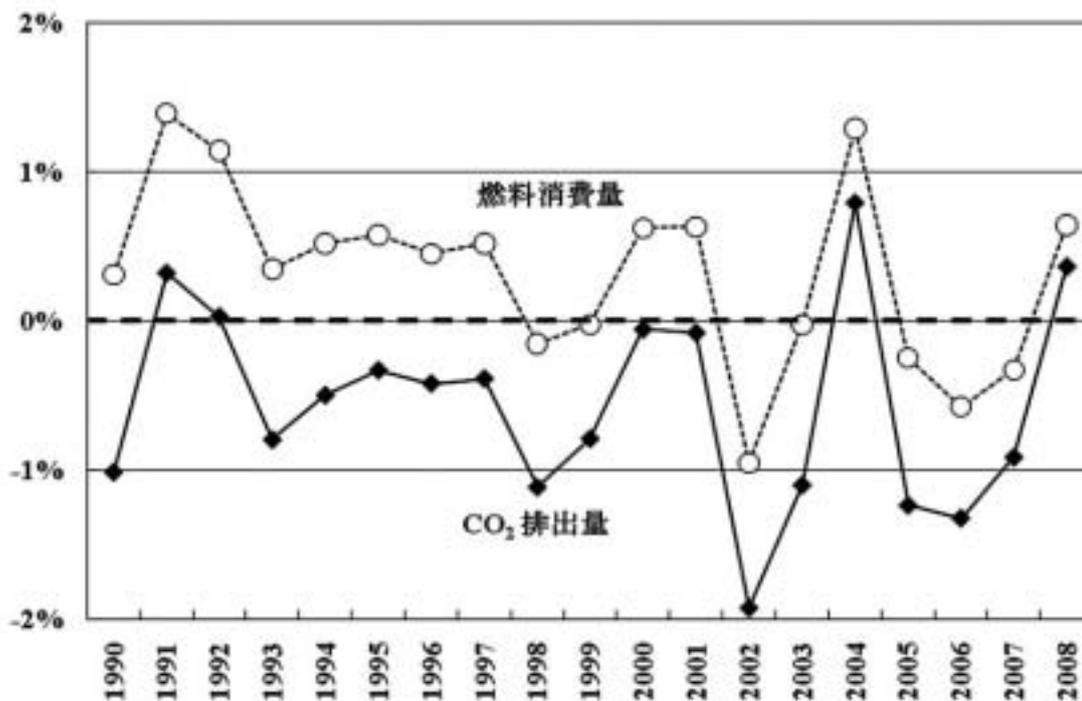


図 A 4-1 燃料消費量の差異及び CO₂ 排出量の差異の推移

4.4. レファレンスアプローチと部門別アプローチの差異の原因について

わが国のインベントリで、レファレンスアプローチと部門別アプローチの燃料消費量、CO₂排出量に差異が出る原因は、原料及び非エネルギー用として控除される炭素量の差、及びインベントリの作成に用いられるエネルギーバランス表（総合エネルギー統計）の「他転換・品種振替（#2700）」、「他転換増（#3000）」、「消費在庫変動（#3500）」「統計誤差（#4000）」及び「石油製品製造（#2600）」のエネルギー損失及び炭素収支誤差である。

なお、レファレンスアプローチの算定における原料及び非エネルギー用として控除される炭素の炭素固定割合は、1996年改訂 IPCC ガイドラインに示されたデフォルト値を用いている。

■レファレンスアプローチの計算で十分に考慮されないもの

わが国のレファレンスアプローチの計算では、国内に供給されたエネルギー量のうち非燃焼用途を除いた量が全て燃焼されたと仮定して計算しているが、実際には燃焼されずに備蓄されている量があり、その積み増し、取り崩しがレファレンスアプローチには反映されない。

【他転換増減（#3000）】

当該部門には、エネルギー転換部門における、消費・販売部門からの返品、製造業等における副産エネルギー源の受入、備蓄の増減などによるエネルギー源の出荷・払出量の増減が計上されているが、レファレンスアプローチではこの増減が考慮されていない。

【消費在庫変動（#3500）】

在庫の積み増し、取り崩しの量がレファレンスアプローチでは考慮されていない。

また、エネルギーとして利用された廃棄物及びエネルギー回収を伴う廃棄物焼却からのCO₂排出量は、焼却された廃油、廃プラスチック、廃タイヤ、合成繊維くず等に含まれる炭素分に由来するものであるが、これらの炭素分は、現在のレファレンスアプローチの計算における原料用及び非エネルギー用の炭素量の控除において十分に実態を反映していない可能性がある。レファレンスアプローチにおける原料用及び非エネルギー用の炭素固定分の算定方法については、今後検討及び改善が必要である。

■調査データの性質上避けられないもの

【統計誤差（#4000）】

統計誤差には本来各種統計調査の段階で本質的に含まれている誤差（本源誤差）及び供給・転換・消費に関する各統計相互間の不整合であってその帰属を推計することが困難であるもの（相対誤差）が存在する。この誤差のため、国内供給、転換、最終エネルギー消費に不整合量が生じ、両アプローチの差異として計上される。

■投入側と産出側のエネルギー・炭素収支に差があるもの

【他転換・品種振替（#2700）】

当該部門には、混合・調湿等の操作による品種振替や、#2100 事業用発電～#2600 石油精製・化学のいずれにも属さないエネルギー転換が計上されている。炭素重量は品種振替、転換前後で変化しないと考えられるが、品種振替等に伴い、対応する発熱量当たりの炭素含有量が増加することにより、統計上品種振替、転換前後で炭素重量が増加する可能性がある。この差が両アプローチの差の原因となる。

【石油製品製造（#2600）】

エネルギー・炭素収支に損失があり、供給側と消費側に差が出る。

表 A 4-3 CO₂排出量の比較（詳細）

	[Gg-CO ₂]										
	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
RA	1,057,427	1,141,966	1,179,346	1,166,441	1,184,667	1,200,526	1,223,561	1,202,642	1,183,422	1,221,635	1,156,161
石油系	659,104	692,444	646,974	626,340	626,747	623,890	607,770	606,374	563,964	566,017	514,925
石炭系	294,611	324,221	377,604	385,525	398,965	410,252	449,953	428,702	434,223	453,747	442,753
ガス系	103,711	125,302	154,767	154,575	158,955	166,384	165,837	167,566	185,235	201,872	198,482
その他	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
SA	1,068,246	1,145,763	1,180,023	1,167,385	1,207,883	1,213,885	1,213,985	1,217,686	1,199,261	1,232,905	1,151,985
石油系	646,223	677,349	635,121	613,057	622,889	611,372	600,423	597,813	562,037	563,675	518,131
石炭系	308,620	331,720	376,521	384,881	409,624	419,659	431,080	437,937	436,698	451,548	420,523
ガス系	104,301	126,198	155,261	155,279	160,359	167,045	166,918	166,823	186,374	203,273	199,519
その他	9,102	10,497	13,122	14,168	15,011	15,809	15,564	15,113	14,151	14,408	13,812
RA-SA	-10,820	-3,797	-678	-945	-23,216	-13,359	9,576	-15,045	-15,838	-11,270	4,176
石油系	12,881	15,095	11,854	13,284	3,858	12,519	7,348	8,560	1,927	2,341	-3,205
石炭系	-14,009	-7,499	1,084	644	-10,659	-9,407	18,873	-9,235	-2,475	2,199	22,230
ガス系	-589	-896	-494	-704	-1,404	-662	-1,081	743	-1,139	-1,402	-1,037
その他	-9,102	-10,497	-13,122	-14,168	-15,011	-15,809	-15,564	-15,113	-14,151	-14,408	-13,812
統計誤差	-10,465	3,381	-1,258	-1,504	-12,510	-9,485	-3,088	-19,607	-13,029	-16,224	-18,807
石油系	-3,708	3,839	-5,664	-5,292	-12,641	-10,667	-15,985	-15,724	-18,620	-22,577	-30,160
石炭系	-6,796	-693	3,915	3,343	-320	836	12,409	-4,361	6,111	6,427	11,706
ガス系	39	236	491	446	450	346	488	478	-521	-73	-354
他転換・品種振替	-2,828	-3,076	-1,189	-1,277	-782	-775	-601	-1,110	-1,233	-1,475	-1,137
石油系	803	1,058	1,119	1,091	1,136	1,171	1,161	1,193	1,151	1,093	1,082
石炭系	-2,807	-3,078	-1,121	-1,168	-709	-709	-546	-1,059	-1,131	-1,361	-1,047
ガス系	-825	-1,056	-1,186	-1,201	-1,210	-1,237	-1,216	-1,244	-1,253	-1,206	-1,172
消費在庫変動	1,452	1,878	2,225	4,268	-8,722	-6,234	9,121	556	-2,851	-2,625	15,696
石油系	788	1,311	-976	1,209	-3,753	-1,853	-2,369	270	2,234	-1,292	1,746
石炭系	681	757	2,934	2,912	-4,286	-4,504	12,005	-1,097	-5,567	-990	13,632
ガス系	-18	-190	268	148	-683	123	-515	1,383	482	-344	318
他転換増減	-895	-642	2,106	623	1,878	2,010	1,625	2,577	-1,385	1,174	1,392
石油系	-895	-642	2,106	623	1,878	2,010	1,625	2,577	-1,385	1,174	1,392
石炭系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石油製品製造	1,257	1,057	6,121	8,664	9,025	10,777	8,166	10,182	10,606	14,586	15,059
石油系	1,518	1,351	6,476	9,032	9,399	11,162	8,548	10,600	11,009	14,960	15,431
石炭系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス系	-261	-294	-355	-368	-374	-385	-382	-418	-403	-374	-371
合計	-11,478	2,598	8,004	10,775	-11,111	-3,707	15,222	-7,401	-7,892	-4,564	12,203
石油系	-1,493	6,917	3,060	6,663	-3,981	1,822	-7,021	-1,083	-5,610	-6,643	-10,510
石炭系	-8,921	-3,015	5,727	5,086	-5,314	-4,377	23,868	-6,517	-587	4,076	24,291
ガス系	-1,064	-1,304	-783	-975	-1,816	-1,152	-1,626	199	-1,695	-1,997	-1,578
分析結果の差	659	-6,395	-8,682	-11,719	-12,105	-9,653	-5,646	-7,644	-7,946	-6,706	-8,027
石油系	14,375	8,178	8,794	6,620	7,839	10,696	14,368	9,643	7,537	8,985	7,304
石炭系	-5,088	-4,484	-4,643	-4,443	-5,345	-5,030	-4,995	-2,718	-1,888	-1,878	-2,061
ガス系	475	408	289	271	412	490	545	544	556	595	542
その他	-9,102	-10,497	-13,122	-14,168	-15,011	-15,809	-15,564	-15,113	-14,151	-14,408	-13,812